

はじめに	i
------	---

第1章 「特別活動」の教育人間学的考察

—「特別活動」における人間形成の意義—	i
第1節 現代日本の学校教育の現状	2
第2節 教育学における人間学的な見方	4
第3節 現代日本の学校教育における「特別活動」の教育的意義	5
(1) 「特別活動」の新設	5
(2) 「特別活動」新設の背景	6
(3) 人間形成の契機としての特別活動	6
(4) 現代日本の核家族化・少子化問題と特別活動	8
(5) 現代の情報化社会と特別活動	8
(6) 「特別活動」の指導の現状	9
第4節 人間形成の契機としての出逢い	10
第5節 「祝祭」と「徒歩旅行」の人間学的考察—「学校行事」への示唆—	14
(1) 祝祭・祝典の人間学的意味	14
(2) 徒歩旅行の人間学的意味	17

第2章 生徒指導ならびに進路指導と「特別活動」との関係

第1節 進路指導とは何か	22
(1) 進路指導の歴史の変遷	22
(2) 進路指導と生徒指導の定義	26
(3) 進路指導の現状と課題	27
第2節 これからの生徒指導と進路指導	28
(1) 進路指導の改善の方向	28
(2) 教育課程における諸活動の連関性	30

第3章 キャリア形成活動と進路指導

第1節 日本の教育改革の現状	36
(1) 「第3の教育改革」の流れ	36

(2) 一連の教育改革	36
第2節 全教育の中核としてのキャリア教育と生徒指導	38
(1) 教育病理現象の多発化	38
(2) 進路指導概念の拡大としてのキャリア教育	39
(3) 日本におけるキャリア教育の導入とその背景	40
第3節 キャリア教育の現状と課題	42
(1) 行政サイドにおけるキャリア教育のための施策	42
(2) 大学におけるキャリア教育	46
(3) キャリア教育の内容と方法	47
第4章 生徒指導のための生徒理解の方法	51
第1節 教師の生徒理解の意義	52
(1) 生徒理解の目的	52
(2) 生徒理解の視点と内容	54
(3) 他者についての正しい判断・理解を妨げる要因	54
(4) 問題行動の理解	57
(5) 近年の少年・少女の犯罪とその特徴	60
第2節 生徒理解のさまざまな方法と技術	62
(1) 一般的理解と個別的理解	62
(2) 生徒理解のための諸方法	63
第5章 学級活動・ホームルーム活動と人間形成	71
第1節 学習指導要領における学級・ホームルーム活動の目標と内容	72
(1) 学級活動の目標	72
(2) 学級活動の内容と時数	72
第2節 学級活動の実践	74
(1) 「係活動」の意義	74
(2) 「係活動」の組織づくりにおける留意事項	75
第3節 学級活動と学級文化	75
(1) 学級集団と学級文化	75

	(2) 学級文化づくりとその教育的意義	76
第4節	学級崩壊とその対処法ないし克服策	77
	(1) 学級崩壊現象の頻発化とその特質	77
	(2) 学級崩壊の背景的要因	78
	(3) 学級崩壊への対処法・克服策	78
第5節	学校・教師への理不尽な要求の現状と対応策	79
	(1) 学校や日本の社会で、現在、起こっていること	79
	(2) クレーマー社会の背景	80
	(3) 学校、教師へのクレームや苦情の実例	81
	(4) 要求する親、地域住民への対応	83
第6章	さまざまな学校行事と人間形成	89
第1節	教育課程における学校行事の位置づけ	90
第2節	近代日本の学校制度における学校行事の導入の歴史的経過	91
	(1) 運動会、遠足の起源	92
	(2) 儀式的行事	93
	(3) 「学芸会」の起源	94
	(4) 戦後の学校行事、特別活動	94
第3節	学校行事の活動内容	95
第4節	学校行事の指導上の留意事項	96
	(1) 学校行事の授業時数	97
	(2) 指導上の留意点	97
第7章	児童会・生徒会活動と人間形成	105
第1節	児童会・生徒会活動の意義	106
	(1) 児童会・生徒会活動の内容	106
	(2) 児童会・生徒会活動の相違点	106
第2節	生徒会活動の内容—学習指導要領に明示されている4つの活動—	108
第3節	児童会・生徒会活動の現状と課題	109

(1) 自治性、自発性、協働性の問題	109
(2) 児童・生徒の人間関係の希薄化、自己中心主義化	109
(3) 生徒会役員の選出と選挙のあり方	112
第8章 クラブ活動・部活動と人間形成	115
第1節 クラブ活動と部活動の歴史の変遷	
—学習指導要領の改訂とクラブ活動・部活動の変遷—	116
第2節 必修クラブ廃止をめぐる諸問題	117
(1) 必修クラブ活動廃止の背景要因	117
(2) 部活動とクラブ活動の本質	119
第3節 クラブ活動・部活動による人間形成の視点	121
(1) 異年齢集団における人間的交流	121
(2) 社会性の涵養	122
(3) 「生」の充実と再創造	122
第4節 学校教育における今後の部活動とクラブ活動のあり方の方向	123
第9章 人間形成における「総合的な学習の時間」と「特別活動」の関係	125
第1節 「総合的な学習の時間」の新設のねらい	126
(1) 「総合的な学習の時間」創設の経緯	126
(2) 現行カリキュラムにおける「総合的な学習の時間」の授業時間数	127
第2節 「総合的な学習の時間」の学習内容と学習活動	128
(1) 「総合的な学習の時間」の学習活動内容	128
(2) 「総合的な学習の時間」の学習方法	129
(3) 新しい評価方法の導入	129
第3節 「総合的な学習の時間」の具体的な学習活動の実践	131
第4節 「総合的な学習の時間」と「特別活動」の関連	132
(1) 「総合的な学習の時間」と「特別活動」の相違点	132
(2) 「総合的な学習の時間」と「特別活動」の類似点ないし共通点	133
(3) 「総合的な学習の時間」と「特別活動」との関係	134

(4) 学力低下論争と「総合的な学習の時間」 136

第10章 「教科学習」と「特別活動における学習」の補完関係 …………… 141

第1節 教科と教科課程 142

- (1) 「教科課程」の名称変更 142
- (2) 「教科」の種類 142
- (3) 教科指導の方法 143
- (4) 教育方法の変遷と今後の展望 145

第2節 学習指導要領における教育課程の3領域 150

第3節 特別活動と教科指導 151

- (1) 特別活動の教育課程化 151
- (2) 各教科と特別活動の相補的關係 152
- (3) 集団の2つの機能 153
- (4) 特別活動の目標—望ましい集団活動— 155

第11章 「特別活動」の歴史の変遷と現代の「特別活動」の問題状況 … 159

第1節 特別活動の源流 160

- (1) ペスタロッチの「生涯教育」の思想 160
- (2) 教科外活動の教育課程化への動き 161

第2節 戦前の日本の「特別活動」 161

第3節 第2次大戦後の日本の「特別活動」 163

第12章 日本における教員養成改革の動向と特別活動…………… 167

第1節 「教育職員養成審議会」答申を中心として 168

- (1) 臨教審第2次答申から教養審答申へ 168
- (2) 「教養審第1次答申」の概要 169
- (3) 大学の教職課程の役割について 172

第2節 中央教育審議会答申

—「今後の教員養成・免許制度のあり方について」の骨子— 173

- (1) 改革の経緯 173

- (2) 改革の基本的考え方 174
- (3) 改革の具体的方策 175
- (4) 答申を受けて 178
- 第3節 教育職員免許法改正における「教員免許更新制」導入に関わる諸問題 178
 - (1) 「教員免許更新制」とは何か 180
 - (2) 「免許更新制」導入の背景要因 181
 - (3) 「免許更新制」の問題点 181
 - (4) 「講習」の内容 182
- 第4節 新設「教職実践演習」科目とは何か 182
 - (1) 「教職実践演習」新設のねらい 182
 - (2) 「教職実践演習」の具体的な到達目標とその内容 183

- 資料編..... 189
- 事項ならびに人名索引 218